



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月29日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 雑賀 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 馬鳥 秀彰 TEL 03(3663)3111
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	25,860	4.4	1,534	18.4	3,323	7.2	2,073	8.5
28年3月期第1四半期	24,778	8.0	1,295	50.5	3,099	50.2	1,912	50.6

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 2,057百万円 (△8.7%) 28年3月期第1四半期 2,252百万円 (67.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	15.53	—
28年3月期第1四半期	14.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	114,441	78,388	62.7	537.48
28年3月期	120,500	77,401	58.9	531.45

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 71,766百万円 28年3月期 70,962百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		7.00	—	35.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成28年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定であるため、平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の1株当たり期末配当金は7円となり、1株当たり年間配当金は14円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,000	3.4	2,200	△15.3	5,500	△12.1	3,300	△5.1	24.71
通期	104,000	2.6	5,000	△8.9	12,000	△6.2	7,600	0.2	284.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年3月期の連結業績予想（通期）における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の連結業績予想（通期）における1株当たり当期純利益は56円92銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	141,667,400株	28年3月期	141,667,400株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	8,143,524株	28年3月期	8,140,902株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	133,524,975株	28年3月期1Q	133,534,640株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当及び業績予想について）

当社は、平成28年6月22日開催の第92回定時株主総会決議に基づき、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施し、併せて同日付で単元株式数の変更（1,000株から100株への変更）を実施する予定です。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りです。

1. 平成29年3月期の配当予想

1株当たり配当金

第2四半期末 7円（注1）

期末 7円（注2）

2. 平成29年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益

通期 56円92銭

（注1）第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

（注2）株式併合考慮前に換算した配当額であります。

平成29年3月期の年間配当金（株式併合考慮前）は14円となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済政策・金融政策の効果を背景に、雇用・所得環境に一定の改善が見られましたが、英国の欧州連合（EU）離脱による世界経済への影響や中国の景気減速などにより、為替相場・株式市場の不安定感が強まりました。個人消費につきましても、消費マインドは依然として停滞傾向にあり、先行きへの不透明感が継続しております。

このような状況の中、当社グループは本年4月より第6次中期経営計画「Mitsui Sugar Revolution Phase 3（三井製糖2022への道）」（2016年4月～2018年3月）をスタートさせ、初年度計画の達成に向けた新たな施策の実行に着手いたしました。

当第1四半期連結累計期間の業績及びセグメントの概況は以下の通りであります。

(砂糖事業)

海外粗糖相場につきましては、期初は15セント半ばでスタートしたのち、需給逼迫見通しやブラジル通貨レアル高から、16セント台へ上昇いたしました。さらに、商品市場への投機筋の資金流入を受け相場は17セントに達し、その後もブラジルの輸出余力減などにより上昇を続け、6月には一時20セント後半まで高騰し、20セント前半で第1四半期末を迎えました。以上のような相場動向の中、当社では慎重な原料糖調達に努めてまいりました。

生産面では、期初からの順調な操業による工程負荷軽減や、ガスの調達コスト低下もあり、前年同期比で製造変動費が減少いたしました。

販売面では、特売回数の減少などにより、家庭用製品の販売量は前年同期をやや下回りましたが、業務用につきましては大手ユーザー向けの販売が好調で前年同期を上回り、家庭用・業務用の合計は概ね前年並みとなりました。

連結子会社では、北海道糖業㈱で販売が堅調に推移し、生和糖業㈱においても販売量が増加したほか、昨年7月に連結子会社化した㈱平野屋が増収増益に貢献いたしました。

以上の結果、砂糖事業全体で、売上高21,821百万円、営業利益1,277百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

期を通じて187円～188円で推移

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値 15.40セント 高値 20.94セント 安値 14.00セント 終値 20.15セント

(フードサイエンス事業)

フードサイエンス事業につきましては、パラチノースの売上高が前年同期を下回りましたが、国内生産を終了し輸入に切り替えたことで売上総利益率が改善いたしました。

連結子会社につきましては、㈱タイショーテクノスでは仕入商品の販売が好調だったものの原材料費高騰の影響を受けたこと、ニュートリー㈱では販売が伸びた一方で営業費用が増加したことなどから、前年同期比減益となりました。

以上の結果、フードサイエンス事業全体で、売上高3,709百万円、営業利益は86百万円となりました。

(不動産事業)

賃貸物件が引き続き安定的に稼働し、売上高329百万円、営業利益170百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は25,860百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は1,534百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティー1,630百万円、持分法による投資利益103百万円を計上したことなどから、経常利益3,323百万円（前年同期比7.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,073百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[連結財政状態の変動状況]

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比6,059百万円減少し114,441百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比5,291百万円減少し46,299百万円となりました。これは主として、商品及び製品の減少2,505百万円、現金及び預金の減少1,588百万円、原材料及び貯蔵品の減少725百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比768百万円減少し68,142百万円となりました。これは主として、建設仮勘定の増加441百万円等があった一方で、機械装置及び運搬具の減少512百万円、建物及び構築物の減少183百万円、のれんの減少167百万円、投資有価証券の減少211百万円等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比7,047百万円減少し36,052百万円となりました。これは主として、借入金の減少3,241百万円、未払法人税等の減少1,823百万円、支払手形及び買掛金の減少1,432百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比987百万円増加し78,388百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益2,073百万円、剰余金の配当1,068百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、概ね計画並に推移しており、平成28年5月12日に公表の通りとし変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,601	16,012
受取手形及び売掛金	7,967	8,358
商品及び製品	15,665	13,159
仕掛品	1,651	1,886
原材料及び貯蔵品	5,508	4,782
繰延税金資産	722	588
その他	2,503	1,538
貸倒引当金	△30	△29
流動資産合計	51,590	46,299
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,321	35,325
減価償却累計額	△21,714	△21,901
建物及び構築物(純額)	13,607	13,424
機械装置及び運搬具	73,767	73,824
減価償却累計額	△59,695	△60,263
機械装置及び運搬具(純額)	14,072	13,560
工具、器具及び備品	2,370	2,383
減価償却累計額	△2,053	△2,044
工具、器具及び備品(純額)	317	339
土地	18,436	18,436
リース資産	888	888
減価償却累計額	△216	△240
リース資産(純額)	672	648
建設仮勘定	5,441	5,883
有形固定資産合計	52,547	52,292
無形固定資産		
のれん	2,523	2,355
その他	978	898
無形固定資産合計	3,501	3,254
投資その他の資産		
投資有価証券	11,136	10,925
長期貸付金	25	26
退職給付に係る資産	269	257
繰延税金資産	713	705
その他	741	706
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	12,861	12,595
固定資産合計	68,910	68,142
資産合計	120,500	114,441

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,240	5,808
短期借入金	5,610	2,810
1年内返済予定の長期借入金	1,760	1,622
リース債務	91	92
未払費用	3,183	2,631
未払法人税等	2,731	907
役員賞与引当金	73	13
その他	2,448	2,605
流動負債合計	23,139	16,492
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,817	2,514
リース債務	606	579
繰延税金負債	1,251	1,175
役員退職慰労引当金	216	224
退職給付に係る負債	3,227	3,230
資産除去債務	414	427
その他	1,426	1,408
固定負債合計	19,960	19,560
負債合計	43,099	36,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,291	1,291
利益剰余金	64,643	65,649
自己株式	△2,900	△2,901
株主資本合計	70,118	71,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	639	662
繰延ヘッジ損益	4	△6
為替換算調整勘定	206	△14
退職給付に係る調整累計額	△6	2
その他の包括利益累計額合計	844	643
非支配株主持分	6,438	6,622
純資産合計	77,401	78,388
負債純資産合計	120,500	114,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	24,778	25,860
売上原価	18,859	19,458
売上総利益	5,919	6,401
販売費及び一般管理費		
配送費	1,207	1,256
役員賞与引当金繰入額	13	13
退職給付費用	32	60
その他	3,369	3,537
販売費及び一般管理費合計	4,623	4,867
営業利益	1,295	1,534
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	183	105
受取ロイヤリティー	1,529	1,630
持分法による投資利益	192	103
雑収入	25	39
営業外収益合計	1,933	1,879
営業外費用		
支払利息	30	25
固定資産除却損	52	11
雑損失	46	53
営業外費用合計	129	90
経常利益	3,099	3,323
特別利益		
補助金収入	1,202	8
特別利益合計	1,202	8
特別損失		
減損損失	—	50
固定資産圧縮損	1,186	1
特別損失合計	1,186	51
税金等調整前四半期純利益	3,115	3,280
法人税、住民税及び事業税	953	939
法人税等調整額	80	77
法人税等合計	1,034	1,017
四半期純利益	2,081	2,262
非支配株主に帰属する四半期純利益	168	188
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,912	2,073

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	2,081	2,262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	132	17
繰延ヘッジ損益	△3	△5
退職給付に係る調整額	△8	7
持分法適用会社に対する持分相当額	51	△224
その他の包括利益合計	171	△204
四半期包括利益	2,252	2,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,079	1,873
非支配株主に係る四半期包括利益	173	184

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,762	3,671	344	24,778	—	24,778
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	10	10	30	△30	—
計	20,771	3,682	354	24,808	△30	24,778
セグメント利益	987	131	175	1,295	—	1,295

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,821	3,709	329	25,860	—	25,860
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	36	10	54	△54	—
計	21,829	3,745	339	25,915	△54	25,860
セグメント利益	1,277	86	170	1,534	—	1,534

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。